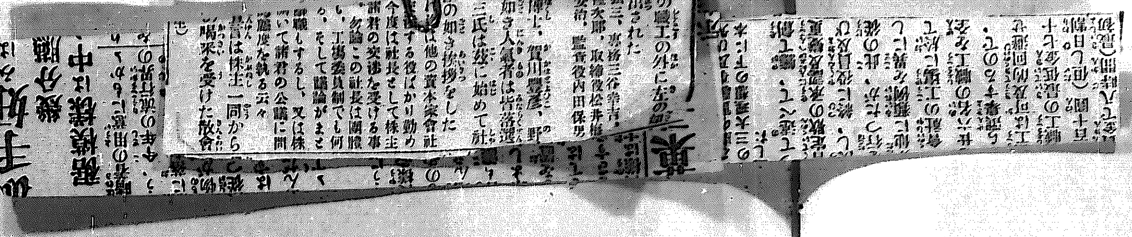
弁護士としては高山義三、中井一夫、三木[illegible]
の三氏主として之れに当り、砂田、野田、今井、其の
他数名なりしが其後より布施、三輪の二氏参加
援にあたりし。

○阪神沿線の労働組合
過般の争議に刺戟されて去る八月なかば
輪業工組合（桶屋の職人八十名）及び樽工組合
（酒樽製造従数二百数十名）の両組合が生まれ
全幹部の指導によりて成立し、前者は待遇
に不平を望み、後者は両者共に不平を望み
其後数回労働争議を惹起したるが漸く
此の両組合とも円満に争議解決せられたる始末也。



名の職工の外に左の
選出された
賀弘三、專務三谷常吉、
賀豊次郎、取締役松井
田安治、監査役内田保男
員
井博士、賀川豊彦、野
の如き人気者は皆落選
三氏は茲に始めて社
左の如き挨拶をした
僕は他の資本家会社
要する役ばかり勤め
今度は社長として株主
諸君の交渉を受ける事
、この社長は團體
、工場委員制でも何
ら、そして議論がまと
職もするし、又は株
いて諸君の公議に問
態度を執る云々
言は株主一同から
喝采を受けた散会

○神戸印刷工組合
産業自治を目的とせる印刷会社を設立すべく
創立委員長為田氏以下十名の創立委員
は熱意其の進捗を図りつゝありしが大体に於て
印刷工組合員持株　三百二十株
其の他の関係者持株　八百八十株
なるを以て本月二十四日創立準備会を
開き別紙記載の如き件を議したり。